

GREEN LIGHT-UP CAMPAIGN 2026

2月22日は「頭痛の日」

日本頭痛学会、日本頭痛協会では、毎年2月22日を「頭痛の日」として制定しております。頭痛は多くの方が経験される身近な症状でありながら、その影響は非常に深刻です。また、疾患として周囲の理解が得られ難いのも特徴です。頭痛患者さんが適切な理解とサポートを受けれるよう「頭痛の日」を設け、啓発活動をしています。

近年、頭痛診療は進歩し、片頭痛の急性期と予防に対して、発症機序を基に開発された薬が使えるようになりました。片頭痛がもたらす日常生活の支障は、痛みのない間欠期にも及びます。今や頭痛は予防療法が主体の時代となりました。**頭痛で困ったら、すぐに医療機関を受診しましょう。**頭痛のシンボルカラーは**グリーン**です。

- ・頭痛は症状ではなく疾患です。頭痛の当たり前を変えましょう。
- ・痛みに対する薬の使い過ぎをなくし、正しい診断と治療を受け、快適な日常生活に戻りましょう。

2026年2月22日（日）の「頭痛の日」には、社会全体に頭痛患者さんへの理解を広め、医療へのアクセスを向上させたいとの想いから、**札幌市時計台・中村記念病院**などが**グリーン**にライトアップされます。片頭痛患者さんに優しい色である**グリーン**でライトアップすることで、疾患啓発を行うことを目的としています。



札幌市時計台

日没～21:30



中村記念病院

日没～翌朝



北海道頭痛セミナー

